

# 学習展開例

対象校種 小学校4年生以上 中学校 高校  
対象教科 特活 道徳 総合

## どのように障がいをもっている人と関わっていくか

[授業時間 45分] 部分視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>目が見えない      手足指が動かない      耳が聞こえない      話せない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体が不自由な人を知っているか聞く。(何が不自由なのかを聞く。)</li> </ul>
<p>体が不自由な人は、不便だ。かわいそうだ。 ・不自由でない人のように生活できないから。 ・自分の思い通りに何でもできないから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体が不自由な人のことをどう思うか、その理由も聞く。</li> </ul>
<p>体が不自由な人は、自分をかわいそうだと思っているのかな？ 聞かないとわからない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体が不自由な人は、自分のことをかわいそうと感じていると思うか聞く。</li> </ul>
<p> 番組部分視聴① ろう者(ひろ)からのメッセージ (1分40秒:はじめ～1分40秒)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ろう者は、自分のことをかわいそうだと感じているのかを意識しながら部分視聴する。</li> </ul>
<p>ろう者は、かわいそうだと思っていない ・子どもたちが楽しそう。・手話で話している。・学校に行き勉強している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>番組視聴して気がついたことや思ったことを聞く。</li> </ul>
<p>なぜ、耳が不自由な子どもたちは楽しそうなのだろう。 学校で何をしているのだろう。知りたい。</p>	
<p>耳が不自由な子どもたちは、どんな学校で何をしているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耳が不自由な子どもたちが学校で何をしているのか、自分の学校との違いは何か、どう感じたかを意識しながら部分視聴する。</li> </ul>
<p> 番組部分視聴② 明晴学園の学校生活 (11分04秒:1分45秒～12分49秒)</p>	
<p>耳が不自由な子どもたちの学校生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスで通っている。(自宅から遠いのかも) ・先生も子ども言葉は話さず、手話で会話している。</li> <li>にぎやかで明るい。みんな笑顔。 ・新学期に担任発表があり、どきどきしていた。</li> <li>手話と体全体、表情で伝え合っている。 ・手話科がある。</li> <li>英語も手話で授業をしている。 ・幼稚園の時から手話で伝え合っている。</li> <li>私たちと同じ内容を勉強している。(手話で授業している)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耳が不自由な子どもたちは、学校で何をしてきたか、自分の学校と比べて違いはあったかについて、ペアで交流してから、全体で交流する。</li> </ul>
<p>もし、耳が不自由な同級生がいたら</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手話を覚えて話したい。 ・かわいそうだと思わず、仲良くしたい。</li> <li>文字を通して会話できそう。 ・身振りで気持ちを伝えられるかも。</li> <li>一緒に遊んでみたい。 ・もし、困っていたら手伝う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もし、耳が不自由な同級生がいたら、自分はどのように関わりたいかを考え、学級全体で交流する。</li> </ul>
<p>耳が不自由な子どもたちは、手話を使って楽しそうに会話したり、勉強したりしていた。耳が不自由な人をかわいそうと思わず、手話や文字、表情でお互いの気持ちを伝え合えば、楽しく生活できると思う。</p>	<p>【学び向かう力 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がいをもつ人達が明るく楽しく生活している様子から、障がいをもつ人に対する見方や考え方を広げ、自分は障がいをもつ人たちと、どのように関わっていくかを考えることができたか。</li> </ul>